



研究誌「瑞星」第14号 - 令和6年12月発刊予定 -

ウェルビーイングを育む学校保健活動の推進

— 調和と協調を意識した取組 —



保健管理

今回は、実践事例集「保健管理」の一部を紹介します。発行をご期待ください。

第14号の実践事例集のキーワードは、「調和」と「協調」です

<小学校>

○自分を見つめ、より良い人間関係を築ける児童の育成を目指して - 保健室頻回来室への対応 -

自己肯定感を高めるための実践やソーシャルトレーニングを取り入れた取組です。「自分を知るワークシート」を活用して児童の思考を可視化するなど興味深い実践です。

○創意工夫を生かした学校保健活動

- 主体的・協働的に健康づくりを実践する子供を目指して -

主体的・協働的に、健康づくりを実践する子供を目指して、様々な特色ある学校保健活動の取組です。「アクションプランの推進」「子供ホームページ記者活動」など、工夫を凝らした取組です。

○生涯にわたって「健康に生きる力」を育む児童の育成 - 健康課題解決に向けた児童委員会活動、養護教諭の関わり -

児童主体型の委員会活動を実践、全児童と保護者参加型の学校保健委員会の開催。自ら意思決定、行動選択する力の育成のため、「健康貯金通帳」を活用し、生活習慣の改善や歯の健康等の指導に取組んだ実践です。

<中学校>

○食物アレルギーを有する生徒への健康管理における取組 - 養護教諭の関わりを通して -

教職員の危機管理への意識の向上のため、食物アレルギー対応研修や校内体制システムの改善を行い、誤食防止の強化を試みた取組です。生徒自身の自己管理能力を高めるために、個別の保健指導を実施した実践です。

○養護教諭が行う小中連携教育の取組

- 小から中へ 安心して進学するために -

近隣の小学校と合同での保健教育の実施や、「つながる」ための生徒保健委員会活動を行うなど、「つながり」を意識した小中連携教育の取組です。「生徒同志のお悩み相談」は、興味深い実践です。

<高等学校>

○食物アレルギー疾患を持つ生徒への対応

- 生徒と教職員に意識変容を目指した連携 -

エピペン®を所持している生徒が安全・安心で充実した学校生活を送ることができるように教職員と連携した取組です。危機回避のための工夫や全教職員が責任を持って緊急時の対応ができるように研修を行った実践です。

<特別支援学校>

○安全・安心な学校管理をめざして - 「チーム学校」としての連携 -

組織体制づくり、医療的ケア体制整備の取組です。リスクマネジメントとクライシスマネジメント両側面から、安全・安心な学校管理を目指した取り組みの実践です。

※現在、編集中のため、タイトルや内容は、変更になることがあることをご了承ください。